

(社)日本原子力学会 第28回 標準委員会 (SC) 議事録

1. 日時 2007年6月14日 13:30～17:50

2. 場所 原子力安全基盤機構 別館13階 13A, B会議室

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 宮野 (委員長), 田中 (副委員長), 平野 (幹事), 大西, 佐藤, 塩田, 柴田, 百々, 西脇, 林, 原, 松本, 山下, 山田, 吉村 (15名)

(代理出席委員) 田中 (青柳代理), 山内(岡本代理), 三枝 (駒田代理), 岩崎 (阪口代理), 吉田 (鈴木代理), 岡本 (早川代理), 森下 (柳沢代理) (7名)

(欠席委員) 饗場, 岩田, 小川, 喜多尾, 北島, 山根 (6名)

(常時参加者) 板垣 (1名)

(傍聴者) 杉山、溝上 (東電) 笠井、米原 (原技協) 佐藤 (東電環境)、大家 (関電)

(事務局) 村上, 厚

4. 配付資料

配布資料

SC28-1 第27回標準委員会議事録 (案)

SC28-2-1 人事について [標準委員会] (案)

SC28-2-2 人事について [専門部会] (案)

SC28-3-1 標準委員会の活動概況

SC28-3-2-1 原子力関係の規格・基準などの標準策定計画 (第6回原子力安全基盤小委員会資料4-1)

SC28-3-2-2 原子力関係の規格・基準などの標準策定計画 (第6回原子力安全基盤小委員会資料4-2)

SC28-3-2-3 原子力安全基盤小委員会 報告書の構成と盛り込むべき事項 (案)

SC28-3-3 ISO/TC85国内対策委員会活動状況報告

SC28-4-1 発電炉専門部会活動状況報告

SC28-4-2 安定性標準: 解説における転載図の間違いについて

SC28-5-1 原子燃料サイクル専門部会活動状況報告

SC28-5-2 「使用済燃料中間貯蔵施設用コンクリートキャスク及びキャニスタ詰替装置の安全設計及び検査基準」の販売計画(案)

SC28-5-3 金属キャスクの安全設計及び検査基準:2004 (改訂版) の公衆審査への移行について

SC28-6-1 放射性廃棄物の放射能濃度決定方法「原子力発電所から発生する浅地中ピット処分対象物の放射能濃度決定方法に関する基本手順」コメント内容の整理表

SC28-6-2??? 日本原子力学会標準「放射性廃棄物の放射能濃度決定方法—原子力発電所から発生する浅地中ピット処分対象物の放射能濃度決定方法に関する基本手順」

SC28-7-1 「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」標準委員会【2次投票】におけるコメント対応 (案)

SC28-7-2 日本原子力学会標準「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方 (案)」

SC28-8-1 レベル1 PSA標準に関する書面投票結果への対応(案) について

SC28-8-2 別添1 標準委員会書面投票時コメントへの対応表(案)

SC28-8-3 別添2 レベル1PSA標準(本文) の書面投票時コメントに基づく修正の対応表

SC28-8-4 別添3 日本原子力学会標準「原子力発電所の出力運転状態を対象とした確率論的安全評価に関する実施基準 (レベル1 PSA編) :200* (案) 公衆審査用」

SC28-9? 統計的安全評価手法中間報告

SC28-10 J N E S の試験研究関連検討会等への学協会基準策定委員会からの委員について

参考資料

SC28-参考1 標準委員会委員任期 一覧表

SC28-参考2 標準委員会及び各専門部会開催スケジュール(案)

5. 議事

(1) 出席者, 資料の確認

事務局より, 開始時点で委員29名中代理を含めて21名の委員が出席しており, 決議に必要な委員数 (20名) を満足している旨, 報告された。また, 出席者の自己紹介があった。

(2) 前回議事録の確認

事務局より, 事前に前回議事録を電子メールにて配布し, 委員へコメント依頼をしたがコメントがなかった旨紹介があり, 議事録は承認された。(SC28-1)

(3) 人事について (SC28-2-1, 2-2)

a. 標準委員会

①新任: 三枝氏, 吉田氏, 岡本氏が委員として選任された。

②再任: 柴田委員及び百々委員が再選任された。

③退任：駒田委員，鈴木委員及び早川委員の退任が報告された。

b. 原子燃料サイクル専門部会

①部会長：田中部会長の再任が承認された。

②新任：坂下委員，高橋委員，濱田委員及び新堀委員の新任が承認された。

③再任：佐久間委員の再任が承認された。

④退任：大橋委員，武田委員及び園田委員の退任が報告された。

c. 発電炉専門部会

①新任：成宮委員，笠井委員の新任が承認された。

②再任：関村委員，平井委員，益子委員の再任が承認された。

③退任：千種委員，百々委員，大橋委員の退任が報告された。

(4) JNESの試験研究関連検討会等への学協会基準策定委員会からの委員について (SC28-10)

吉村委員より，SC28-10に沿って，JNES検討会への標準委員会からの委員推薦の依頼があり，標準委員会として委員を推薦することが了承され，人選を原子燃料サイクル専門部会にて検討することとなった。なお，今後，このような依頼がある場合の対応については，標準委員会3役にて調整していくことが確認された。

(5) 標準委員会の活動状況報告 (SC28-3-1)

事務局より，SC28-3-1に沿って報告され，了承された。

(6) 標準委員会運営タスク（原子力基盤小委）の活動報告 (SC28-3-2)

委員長より，SC27-3-2に沿って，報告された。なお，資料にコメントがある場合は6月21日までに事務局へコメントを送付することとなった。

(7) ISO/TC85国内対策委員会の活動報告 (SC28-3-3)

事務局より，SC28-3-3に沿って，ISO/TC85国内対策委員会の活動の報告があった。

(8) 専門部会活動状況報告

a. 発電炉専門部会

1) 第26回実施状況報告 (SC28-4-1)

事務局より発電炉専門部会の活動状況が報告され了承された。

2) BWR安定性標準の誤記訂正 (SC28-4-2)

説明の経緯は誤記として理解できるが，誤記の図と訂正の図（元図）を比較とすると技術的な変更となるようにも思え，標準委員会は発電炉専門部会に本件の再審議を求めた。発電炉専門部会で審議したところ，誤記訂正であり編集上の変更となった。本図は，なくても全体の主張に影響がないこと，および誤記の図も訂正の図も意図した内容には大差ないことが説明された。

発電炉専門部会での審議を丁寧に議事録に記載すると良いとの指摘があった。また，元図までさかのぼり訂正までのプロセスを再吟味すると誤記であることがわかる。

委員の了承を経て制定の決議することとした。決議の結果，賛成21，反対0，保留1で，制定が承認された。

b. 原子燃料サイクル専門部会

1) 第27回実施状況報告 (SC28-5-1)

事務局より，第27回原子燃料サイクル専門部会の活動状況が説明され了承された。

2) コンクリートキャスク標準の販売計画案 (SC28-5-2)

事務局より，SC28-5-2に沿って「使用済燃料中間貯蔵施設用コンクリートキャスク及びキャニスタ詰替装置の安全設計及び検査基準」の販売計画の変更の提案があり，了承された。

3) 金属キャスクの安全設計及び検査基準:2004（改訂版）の公衆審査への移行について (SC28-5-3)

事務局より，SC28-5-3に沿って，転載データの修正等が説明され，修正案の承認（編集上の修正）並びに公衆審査への移行を委員の了承を経て決議することとした。

決議の結果，賛成22，反対0，保留0で，承認された。

(9) 放射性廃棄物の放射能濃度測定方法（案）の書面投票結果の対応及び公衆審査への移行の審議 (SC28-6-1)

委員会書面投票の結果，賛成26票，反対0票及び保留2票で可決成立したことが報告された。書面投票での意見への対応

案がSC28-6-1に沿って説明され、審議の結果、次の質疑応答でのコメントを反映することで対応案の承認（編集上の修正）並びに公衆審査への移行を委員の了承を経て決議することとした。

決議の結果、賛成21，反対0，保留1で、対応案及び公衆審査へ移行することが承認された。

主な議論：

- P22 a) 相関図の観察に基づく考察のアンダーラインの箇所、「・・・理論的な傾向に従っていることを確認する。」とあるが、次のb)の文書も「・・・相関性について確認する。」とあり、同様のことを言っているように読めるので、前者を「・・・検討する。」とすること。

→ 修正する。

(10) 返還廃棄物の確認に関する基本的考え方（案）の書面【2次】投票結果の対応及び公衆審査への移行の審議（SC28-7-1, 7-2）

委員会書面二次投票の結果、賛成25票，反対1票及び保留1票で可決成立したことが報告された。書面投票での意見への対応案がSC28-6-1に沿って説明され、審議の結果、次の質疑応答でのコメントを反映することで対応案の承認（編集上の修正）並びに公衆審査への移行を委員の了承を経て決議することとした。

決議の結果、賛成19，反対0，保留2で、対応案及び公衆審査へ移行することが承認された。

主な議論：

- 定義のk, lにおいて、「全数検査を実施すること」と具体的な実施要求事項となっており定義としての記載としてはおかしいのではないか。

→ 検討し、修正する。

(11) レベル1 P S A 標準（案）の書面【再】投票結果の対応及び公衆審査への移行の審議（SC27-9-1~3）

標準委員会の書面投票の結果、可決成立したが、投票の際に提出されたご意見及び保留意見への対応が説明された。分科会で検討された対応策が発電炉専門部会で審議され、発電炉専門部会としての改訂方針が示され、この方針に沿って分科会で標準案を訂正し後、発電炉専門部会3役で編集上の変更であることが確認されたとの説明があった。

また、保留意見の中に、書面投票中に一部の編集上の変更を行ったとのことだが、書面投票中の変更は書面投票の成立性について疑問が残る、との意見があった。これに対して、変更は編集上の内容であり、変更の前後で意味の相違がないことが説明され委員会により了承された。ただし、今回の説明資料には、書面投票の変更についての説明が含まれていないため、後日委員の方に再確認していただくこととなった。

書面投票の成立性及び公衆審査への移行について決議が行われた。書面投票の成立性については、賛成18，反対0，保留2で承認され、次に公衆審査の移行については、賛成20，反対0，保留0で承認された。なお、前者については、委員に説明資料を送付し、2週間の間に課題の指摘がなければ決議成立することが確認された。

(12) 統計的安全評価手法標準（案）の中間報告の審議（SC27-8）

統計的安全評価手法標準について、全体の概要と主要な考え方が分会より説明がされた。主な指摘事項は以下の通り。

- 目次の内容が極めて少なく、構成上の課題があるように思われる。
- 試験／実験など用語の定義を行など工夫が必要。
- 標準の内容を良く示すように標準のタイトルについて検討すべきでないか。
- デザインマージンの考え方を、決定論的手法と統計的手法を使用したときで、それぞれに対し明瞭にすべきではないか。
- データベースの取り扱い方はもう少し丁寧に記載する方が良い。

6. 次回の予定

次回から安全委員会からも参加するようにアレンジすることが委員長から紹介があった。

次回委員会は、9月6日（木）13:30～に開催することとした。

以上